

笑顔で温かいおもてなし

4/26

登別市観光ボランティアガイド会出発式

4月26日、登別地獄谷展望台で『登別市観光ボランティアガイド会出発式』が行われました。

毎年春から10月末までの期間、地獄谷を訪れた観光客の方に向けて、周辺の歴史や特色などを案内している同会。出発式では松本会長が「今年は、昨年よりも観光客の増加が見込まれる。懇切丁寧な対応で、温かいおもてなしをしましょう」とあいさつし、今シーズンの活動に向けて会員の士気を高めました。

今年も毎日10時から15時まで、地獄谷展望台で皆さんを明るく笑顔でお迎えます。



▲今季の活動を開始したガイド会のメンバー



▲契約書を取り交わした木村会頭（左）と小笠原市長

応援企業の拡大を目指す  
登別商工会議所に企業版ふるさと納税マッチング支援業務を委託

4/22

4月22日、市は道内の自治体では初めてとなる商工会議所との企業版ふるさと納税のマッチング支援業務に係る委託契約を締結しました。

企業版ふるさと納税は、企業が本社所在地以外の自治体に寄付をすると最大で9割の法人関係の税が軽減されるもので、令和5年度に市は7件の寄付を受けています。

本年、同様の契約を結んだ(株)北海道銀行や日本工学院北海道専門学校とともに登別商工会議所が保有するノウハウやネットワークの活用による応援企業の拡大と寄付額、寄付件数の拡大などが期待されます。

郷土資料館を満喫

第1回郷土資料館まつり

5/11

5月11日、郷土資料館で『第1回郷土資料館まつり』（市主催）を開催しました。

同館はこれまで、武士の生活を学ぶ『わんぱくサムライ体験』を開催していましたが、登別の歴史や文化への学びを深めることを目的に、より一層遊びと学びの双方の楽しさを体験できるイベントとして、今年からリニューアルしました。

催しには、屋内でのボードコール作りやアイヌ文様作りのほか、展示を見て答えるチャレンジシートを新たに用意し、屋外で遊んだ子どもたちが館内を巡り、楽しく学ぶ姿が見られました。

屋外では、こま回しやメンコ、けん玉など恒例の昔懐かしい遊びや、木馬にまたがり、的に矢を放つ人気の流鏑馬体験、鉄製の型を使って炭火で焼き上げるせんべい焼き体験が行われ、子どもたちの真剣な表情やはじける笑顔が見られました。



▲こま回しやメンコ、アイヌ文様作りを楽しむ子どもたち